

函館市医療・介護連携推進協議会 第9回会議

日時：平成29年11月7日（火）19：00～

場所：総合保健センター 2階 健康教育室

【次第】

1 開 会

- (1) センター相談員の交代について

2 議 事

- (1) 函館市医療・介護連携支援センターの業務報告について
 - ア 医療・介護連携に関する相談支援
 - イ 地域の医療・介護の資源の把握
 - ウ 市民への普及啓発
 - エ 医療・介護関係者の研修
 - オ 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築
 - カ 医療・介護関係者の情報共有の支援
- (2) 来年度以降の取り組みの方向性について
- (3) 広域連携について

3 その他

4 閉 会

【配布資料】

- 1 議事項目レジュメ
- 2 相談統計
- 3 研修概要書
- 4 函館市医療・介護連携「急変時対応研修会」
- 5 オーバーナイト対象患者に係るヒアリング調査結果
- 6 試験運用の状況
- 7 はこだて医療・介護連携サマリー（記載例等抜粋）
- 8 未来投資戦略2017
- 9 全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議資料（抜粋）
- 10 計画の基本的な考え方（函館市高齢者計画策定推進委員会第4回会議資料）

函館市医療・介護連携推進協議会 顧問・委員名簿

H29.11.7

(敬称略)

(顧 問)

分野	所属団体	職 名	氏 名	勤務先	第9回 出欠
1	公益社団法人 函館市医師会	会 長	ホンマ サトシ 本間 哲	医療法人社団 本間眼科医院	出席
2	一般社団法人 函館歯科医師会	会 長	タジマ ヒサシ 田嶋 久士	たじま歯科医院	出席
3	一般社団法人 函館薬剤師会	会 長	クマカワ マサキ 熊川 雅樹	あおい薬局	出席
4	函館市病院局	局 長	ヨシカワ オサミ 吉川 修身	函館市病院局	出席

(委 員)

(敬称略)

分野	所属団体	職 名	氏 名	勤務先	第9回 出欠
1	公益社団法人 函館市医師会	副会長	オンムラ ヒロキ 恩村 宏樹	医療法人社団 恩村内科医院	出席
2	一般社団法人 函館歯科医師会	副会長	イワイ ユウジ 岩井 祐司	戸井歯科診療所	出席
3	一般社団法人 函館薬剤師会	常務理事	ミズエ ヒロミチ 水越 英通	はこだて調剤薬局 昭和店	出席
4	公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部	支部長	クシマ ケイコ 九嶋 圭子	社会福祉法人 函館厚生院 函館五稜郭病院	出席
5	道南在宅ケア研究会	幹 事	オカダ シンゴ 岡田 晋吾	医療法人社団 守一会 北美原クリニック	出席
6	函館地域医療連携実務者協議会	世話人	カメヤ ヒロシ 亀谷 博志	社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院	出席
7	一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部	事務局長	サケモト セイイチ 酒本 清一	独立行政法人国立病院機構 函館病院	出席
8	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	会 長	ナカムラ キョウキ 中村 清秋	居宅介護支援事業所 ひなたぼっこ	出席
9	函館市地域包括支援センター連絡協議会	会 長	マツノ ヨウ 松野 陽	函館市地域包括支援センターたかおか	出席
10	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	会 長	テラダ マサヒロ 寺田 昌弘	社会医療法人 仁生会 西堀病院	欠席
11	道南訪問看護ステーション連絡協議会		ホサカ アケミ 保坂 明美	株式会社トランスユイット 訪問看護ステーション フレンズ	出席
12	道南地区老人福祉施設協議会	会 長	サイトウ タダフミ 齋藤 禎史	介護老人福祉施設シンフォニー	出席
13	函館市保健福祉部	部 長	フジタ ヒデキ 藤田 秀樹	函館市	出席

(オブザーバー)

函館市医師会事務局 函館歯科医師会事務局 函館薬剤師会事務局 渡島総合振興局
--

(事務局等)

函館市保健福祉部 函館市医療・介護連携支援センター

議事（１） 函館市医療・介護連携支援センターの業務報告について

ア 医療・介護連携支援に関する相談支援 資料 2 参照

イ 地域の医療・介護の資源の把握

(ア) 在宅医療・介護連携マップの情報更新について（毎年度 10 月 1 日現在で更新）

ウ 市民への普及啓発

(ア) 出前講座等

- ① 函館市高齢者大学
 - ・ H29. 9. 28・29 大門校（ふらっとD a i m o n）
 - ・ H29. 12. 21・22 同 上
- ② 函館市老人福祉センター 平成 30 年 1 月以降予定
- ③ 地域包括支援センターとの協働
- ④ その他
 - ・ H29. 9. 22 東富岡在宅福祉委員会
 - ・ H29. 10. 1 H O T する会
 - ・ H29. 10. 21 MOPN 市民公開シンポジウム

エ 医療・介護関係者の研修 資料 3 参照

- (ア) 大規模研修 ① 多職種連携研修
(イ) 中小規模研修 ① 医療関係者向け ② 介護関係者向け
(ウ) 研修情報の一元化の取組について

オ 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築

- (ア) 入退院支援 ～ はこだて入退院支援連携ガイドの利用促進と検証
(イ) 看取り ～ 好取組事例の分析およびそのノウハウの拡大・市民啓発
(ウ) 急変時の対応
- ① H29. 8. 28 急変時対応研修会 資料 4 参照
～ 介護施設等での急変時における好取組事例の報告 ～
 - ② オーバーナイト事例について 資料 5 参照
 - ③ 仕組みの検証 ～ 事例分析を平成 30 年 1 月以降に予定
 - ④ 急変時対応シートについて
 - ⑤ 市民啓発について

カ 医療・介護関係者の情報共有の支援

(ア) アセスメントについて（第5・6回部会にて2回実施） 資料6参照

(イ) サマリー関連資料について 資料7参照

- ① 記載例 ② 応用ツール記載マニュアル ③ 応用ツール関連事項

(ウ) 正式運用に向けた課題について

- ① 様式の見直しにかかる修正作業や検証の追加
② サマリー関連資料の整備にかかる作業の追加

(エ) 修正版サマリーによる試験運用について

- ・ 11月～1月の試験運用期間を追加

(オ) 正式運用の開始時期 ～ 平成30年3月予定

- ① アセスメント（2月） ② 説明会 ③ 正式運用開始（3月）

(カ) ICTについて

① 研修会の開催について

- ・ 第6回部会（H29.10.26） ・ 第7回部会（H30.2月予定）

② 「全国保健医療情報ネットワーク」について 資料8参照

- ・ 「未来投資戦略2017」（H29.6.9閣議決定）
・ 平成32年度から（2020年度）本格稼働予定

論点：「はこだて医療・介護連携サマリー」の正式運用に向けた取り組みとスケジュール等について

議事（２） 来年度以降の取り組みの方向性について

ア 国の施策の方向

- （ア）全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議（H29. 3. 10） 資料 9 参照

イ 第 7 期函館市介護保険事業計画の基本的な考え方

- （ア）H29. 10. 30 函館市高齢者計画策定推進委員会 資料 10 参照

ウ 函館市医療・介護連携支援センター運営委員会の設置

- （ア）函館市医療・介護連携推進協議会の後継の位置付け
- ・ センター業務にかかる各種取り組みのコンセプトの承認

論点：函館市医療・介護連携支援センター運営委員会の設置の方向性について

議事（３） 広域連携について

ア 前回会議での意見

- ・ 各種の連携ルール等の広域での共通利用など、広域連携の検討について渡島総合振興局が所管する組織を協議の場として活用できないか。

イ 渡島総合振興局との協議等の状況

- （ア）南渡島保健福祉医療圏域連携推進会議 在宅医療専門部会（H29. 9. 5）
- ・ 函館市の取り組みの説明と意見交換

別記第2号様式

相談統計(平成29年4月～平成29年9月)

1 新規の相談

(1)相談内容別

(単位:件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退院支援・調整	19	6	5	8	3	3							44
日常の療養支援	30	9	13	15	15	14							96
急変時の対応			1	1	1	1							4
看取り	3					1							4
その他	17	7	8	6	5								43
合計	69	22	27	30	24	19							191

(2)相談依頼者別

(単位:件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	8	3	2	5	3	2							23
家族	22	6	7	7	9	8							59
在宅医療機関(診療所)													
在宅医療機関(病院)	4	2				1							7
入院医療機関(診療所)			1										1
入院医療機関(病院)	10	6	6	7	3	2							34
医療機関(歯科)			1										1
薬局		1											1
地域包括支援センター	3	1	2	2	1	1							10
居宅介護支援事業所	11	2	4	4	5	3							29
訪問看護ステーション	2		3	1									6
老人福祉施設					1	1							2
介護保険事業所	3	1	1	1	1								7
その他	6			3	1	1							11
合計	69	22	27	30	24	19							191

2 新規および継続の相談対応方法別

(単位:件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	85	35	50	35	50	50							305
訪問	2		3	2	1								8
来所	33	18	14	13	8	5							91
文書													
メール	1												1
関係者協議	7	3	7	4	4	5							30
その他			2			4							6
合計(延べ人数)	128	56	76	54	63	64							441

別紙 研修概要書

名 称	第3回 函館市医療・介護連携多職種研修会
目 的	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月から稼働している「函館市医療・介護連携支援センター」の実績報告によりセンターの機能と役割を理解する。 15職種による職種紹介とグループワークを通じて、自職種を省みる機会と多職種を理解する機会を作り、多職種連携の基盤づくりをする 関係多職種間の「顔の見える関係づくり」や率直な意見交換の場として、研修会終了後に懇親会を開催する。
共 催	函館市（函館市医療・介護連携推進協議会） 函館市医師会（函館市医療・介護連携支援センター）
日 程	平成29年11月25日（土）14:00～17:00（予定） ※ 研修終了後、職種を超えた交流を目的とした懇親会を予定
会 場	花びしホテル (函館市湯川町1-16-18 電話57-0131)
司 会	独立行政法人 国立病院機構 函館病院 相談支援室 医療ソーシャルワーカー 酒本 清一様
テ ー マ	「相互理解～自職種を省みる・他職種を理解する～」
内 容	<ul style="list-style-type: none"> 講演「函館市医療・介護連携支援センター 実績報告」 演者 函館市医療・介護連携支援センター 医療ソーシャルワーカー 佐藤 静 職種紹介「専門職ができること～15職種の紹介」 グループワーク（最大30テーブル/8人掛け） テーマ：自職種として果たすべき役割 他職種へ聞いてみたいこと 意見交換
参加対象	市内の医療・介護関係者
参加人数	約240名（見込）
参加費用	無 料（懇親会参加費用は別途徴収 ※金額は3,500円程度）
関係者参考	<p>【函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会】</p> <p>北海道医療ソーシャルワーカー協会 函館市居宅介護支援事業所連絡協議会 函館歯科医師会 函館薬剤師会 北海道看護協会 道南在宅ケア研究会 函館地域医療連携実務者協議会 北海道柔道整復師会 函館鍼灸マッサージ師連携会 函館市地域包括支援センター連絡協議会 函館市訪問リハビリテーション連絡協議会 道南訪問看護ステーション連絡協議会 道南地区老人福祉施設協議会</p> <p>【函館市医療・介護連携支援センター】</p>
備 考	アンケート実施

別紙 研修概要書

名 称	函館市医療・介護連携多職種中小規模研修会～医療関係者向け～
目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・「相互理解」というテーマの下、医療関係者には介護側の事情を、介護関係者には医療側の事情を知っていただく機会とし、お互いの距離や隔たりを縮め、顔の見える関係の中で更に連携を高める ・医療関係者に対しては、介護保険の概要を理解してもらうことで、適切な連携につなげる
共 催	函館市（函館市医療・介護連携推進協議会） 函館市医師会（函館市医療・介護連携支援センター）
日 程 会 場	①平成29年10月30日（月）18：00～19：00（予定） 社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 （函館市五稜郭町38番3号 電話51－2295） ②平成30年 2月13日（火）18：00～19：00（予定） 独立行政法人 国立病院機構 函館病院 （函館市川原町18番16号 電話51－6281） ※同テーマ、同講師で開催場所を変えて2回実施します
テ ー マ	「介護保険の概要～退院を見据えた展開～」
内 容	《講 師》 函館市地域包括支援センターゆのかわ 保健係長 京谷 佳子様
参加対象	医療関係者
参加人数	①約150名 ②約60名
参加費用	無 料
関係者参考	【函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会】 北海道医療ソーシャルワーカー協会 函館歯科医師会 函館薬剤師会 北海道看護協会 道南在宅ケア研究会 函館地域医療連携実務者協議会 北海道柔道整復師会 函館鍼灸マッサージ師連携会 函館市居宅介護支援事業所連絡協議会 函館市地域包括支援センター連絡協議会 函館市訪問リハビリテーション連絡協議会 道南訪問看護ステーション連絡協議会 道南地区老人福祉施設協議会 【函館市医療・介護連携支援センター】
備 考	アンケート実施

別紙 研修概要書

名 称	函館市医療・介護連携多職種中小規模研修会～介護関係者向け～
目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・「相互理解」というテーマの下，医療関係者には介護側の事情を，介護関係者には医療側の事情を知っていただく機会とし，お互いの距離や隔たりを縮め，顔の見える関係の中で更に連携を高める ・介護関係者に対しては，医療機関の病床機能やこの先の医療政策の展開を理解してもらうことで，適切な連携につなげる
共 催	函館市（函館市医療・介護連携推進協議会） 函館市医師会（函館市医療・介護連携支援センター）
日 程	①平成29年10月19日（木）18：30～19：30（予定） ②平成30年 2月26日（月）18：30～19：30（予定） ※同テーマ，同講師で2回実施します
会 場	函館市医師会病院 5階講堂 （函館市富岡町2丁目10-10 電話43-3939）
司 会	函館市医療・介護連携支援センター 佐藤 静
テ ー マ	「医療機関の病床機能の理解，この先の医療政策の展開について」
内 容	《講 師》 独立行政法人 国立病院機構 函館病院 相談支援室 医療ソーシャルワーカー 廣瀬 量平様
参加対象	市内の居宅介護支援事業所，地域包括支援センター，訪問看護事業所の職員
参加人数	約80名
参加費用	無 料
関係者参考	<p>【函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会】</p> <p>函館市医師会 函館歯科医師会 函館薬剤師会 北海道看護協会 道南在宅ケア研究会 函館地域医療連携実務者協議会 北海道医療ソーシャルワーカー協会 北海道柔道整復師会 函館鍼灸マッサージ師連携会 函館市居宅介護支援事業所連絡協議会 函館市地域包括支援センター連絡協議会 函館市訪問リハビリテーション連絡協議会 道南訪問看護ステーション連絡協議会 道南地区老人福祉施設協議会</p> <p>【函館市医療・介護連携支援センター】</p>
備 考	アンケート実施

函館市医療・介護連携『急変時対応研修会』
～介護施設等での急変時における好取組事例の報告～

- 【日 時】 平成29年8月28日（月） 19:00～20:00
（受付18:30～）
- 【場 所】 函館競輪場テレシアター
（住所：函館市金堀町10-8 電話：51-3121）
- 【対 象】 施設関係者及び協力医療機関の医師等 定員300名
（248名参加）
- 【内 容】 司会（長谷川）
- 19:00 開会・挨拶（高柳）
- 19:03 1) 函館市医療・介護連携における急変時対応の説明
公益社団法人 函館市医師会
会 長 本 間 哲
- 19:13 2) 函館市内の施設による急変時対応好取組事例の報告
社会福祉法人心侑会 小規模多機能ハウスあい戸倉
管理者 中 本 美左子 様
社会福祉法人函館厚生院 特別養護老人ホーム百楽園
看護係長 渡 邊 千恵子 様
- 19:45 質疑応答
- 19:50 急変時対応シート説明（佐藤）
- 19:55 3) 総括
公益社団法人 函館市医師会
副会長 恩 村 宏 樹
- 20:00 終了

オーバーナイト対象患者に係るヒアリング調査結果

※ 調査対象期間:平成29年7月1日～9月30日

※ 調査対象:空床情報システムに登録している急変時対応協力機関

1 ヒアリング項目

1)年齢 2)性別 3)居住地 4-1)紹介元病院

4-2)紹介元病院が急変時システムを確認していたか 5)病名 6)二次救急へ救急搬送された経緯

7)オーバーナイト後に受け入れまで要した期間 8)受け入れから退院までの入院期間 9)退院先

2 オーバーナイト事例

①

1)90歳
2)女性
3)函館市
4-1)急性期病院
4-2)確認していない
5)喘息、高血圧
6)感冒症状による体調不良
7)即日(7月下旬)
8)14日間
9)自宅

②

1)73歳
2)女性
3)函館市
4-1)急性期病院
4-2)確認していない
5)逆流性食道炎、嘔吐
6)吐き気症状収まらず
7)即日(7月下旬)
8)7日間
9)自宅

③

1)73歳
2)女性
3)函館市
4-1)急性期病院
4-2)確認していた
5)食欲不振、脱水症、認知症
6)倦怠感、体動困難
7)翌日(7月上旬)
8)60日間
9)住宅型有料老人ホーム

④

1)93歳
2)男性
3)函館市
4-1)急性期病院
4-2)確認していた
5)頭部切創、陳旧性鎖骨骨折、前立腺肥大疑い
6)転倒、頭部切創
7)6日間(8月上旬)
8)60日間
9)自宅

試験運用の状況(H29. 4月～H29. 9月)

ア はこだて医療・介護連携サマリー試験運用協力機関一覧および試験運用実績

区分	種別	機関名	試験運用実績(件)
病院	病院	函館五稜郭病院	11
		函館中央病院	22
		函館市医師会病院	114
		国立病院機構函館病院	3
		おおむら整形外科病院	3
		西堀病院	2
在宅系サービス	居宅介護支援事業所	ハーモニー	2
		あさひ	18
		函館脳神経外科	6
		百楽園	3
		シンフォニー	9
		はくあい園	12
		あんじゅう	18
		白ゆり	22
		すみれ	10
		西堀	21
		あんしん松風	2
	地域包括支援センター	たかおか	4
		ときとう	4
		神山	1
	施設系サービス	短期入所療養介護	ケンゆのかわ
短期入所生活介護		ショートステイ白ゆり美原	0
特別養護老人ホーム		桔梗みのりの里	16
		シンフォニー	0
介護付き有料老人ホーム		こん	1
サービス付き高齢者向け住宅		(株)ハーモニー系列	0
		亀田日和	3
		ジャパンケアサービス	1
	ハートT0ハート北浜	0	

総実績数 308件

イ 運用形態別の試験運用実績

(病院から提供)

- ・病院→在宅 72件
 - ・病院→施設 49件
 - ・病院→病院 34件
- 計 155件

(在宅系サービスから提供)

- ・在宅→病院 111件
 - ・在宅→施設 12件
 - ・在宅→在宅 9件
- 計 132件

(施設系サービスから提供)

- ・施設→病院 21件
 - ・施設→在宅 0件
 - ・施設→施設 0件
- 計 21件

総実績数 308件

はこだて医療・介護連携サマリー修正箇所について

【基本ツール①】

はこだて医療・介護連携サマリー【基本ツール】					
情報提供先 施設名称		御中		情報提供先 担当者名	
● 基本情報等					
(フリガナ) 氏名	生年・ 性別等	生 年 月 日	生活 保護 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	障害等 認定 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 療育 <input type="checkbox"/> 特定疾患	身障(級) 精神(級)
現住所	電話番号				
① 居住	<input type="checkbox"/> 戸建(階) <input type="checkbox"/> アパート(階) <input type="checkbox"/> マンション(階) <input type="checkbox"/> 施設(階) ※エレベータ <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			<input type="checkbox"/> 健康保険 <input type="checkbox"/> 国民健康保険 <input type="checkbox"/> 後期高齢者 <input type="checkbox"/> その他()	
② 要介護度	認定有 効期間	平成 年 月 日	障害高齢者日常生活自 立度(覆たきり度)	認知症高齢者日 常生活自立度	
同居家族	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 子 <input type="checkbox"/> 子の配偶者 <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹 <input type="checkbox"/> その他()				
③ 主介護者	続柄	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	電話	職労 状況	健康 状態
キーパーソン	続柄	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	電話	緊急 連絡先	
● 医療情報等 *歯科医師等が摂食や口腔ケアに介入されている場合は、応用ツール⑩を作成して下さい。					
主病名	医療機関等名称	診療科名等	担当医	受診状況等	*特記
					<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>
*特記☑の付く場合は応用ツール⑩を作成して下さい。					
● 身体・生活機能等					
④ 起居動作	<input type="checkbox"/> 起き上がれる <input type="checkbox"/> 立ち上がれる <input type="checkbox"/> 寝たきり <input type="checkbox"/> 介助が必要 <input type="checkbox"/> 介助が必要	⑤ 移動	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 杖無し <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 介助 <input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 車いす	<input type="checkbox"/> 左上部 <input type="checkbox"/> 右上部 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 左下部 <input type="checkbox"/> 右下部 ()	<input type="checkbox"/> 入院時 <input type="checkbox"/> 入院中 <input type="checkbox"/> 退院時 地域生活期 <input type="checkbox"/> その他()
麻痺の状況	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 軽度 <input type="checkbox"/> 中度 <input type="checkbox"/> 重度	麻痺の部位			
⑥ 視力	<input type="checkbox"/> 新聞等の字が見える <input type="checkbox"/> 目の前の物が見える <input type="checkbox"/> ほとんど見えない <input type="checkbox"/> 判断不能	眼鏡	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		
聴力	<input type="checkbox"/> 日常生活に支障なし <input type="checkbox"/> 大声ならなんとか聞える <input type="checkbox"/> ほとんど聞えない <input type="checkbox"/> 判断不能	補聴器	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		

①『アパート，マンション』を分けずに集合住宅に修正。エレベーターのチェック項目を上部に移動し，施設の（ ）のスペースを大きく変更。

②『事業対象者』を追加，『適応外』の表現を『非該当』に変更。

③『主介護者，キーパーソン』の表現を『連絡先①②』に変更。後方の『就労状況，健康状態，緊急連絡先』を『関係』に変更。

④起居動作のチェック項目を簡素化。自立・見守り以外にチェックがつく場合は応用ツール⑩に記入する形に変更。

⑤自立と介助を分け，その後ろに手段をチェック。

⑥視力・聴力のチェック項目を簡素化。フリー記入スペースを追加。

【基本ツール②】

家族構成図	□ = 男性 ○ = 女性 ◎ = 本人 KP = キーパーソン		緊急連絡先	氏名	続柄	連絡先
	1 (住所)					
	(備考・携帯番号等)					
	2 (住所)					
(備考・携帯番号等)						
3 (住所)						
(備考・携帯番号等)						
本サマリーの記入者		所属名				
電話		FAX		記入者	函達次郎	作成日

⑦『関係』『就労状態』『健康状態』を追加。

【応用ツール②褥瘡管理】

応用ツール② 褥瘡管理	
1. 氏名	
2. 治療医療機関	・担当医
3. 自己管理能力 (該当するものに☑)	
⑧	<input type="checkbox"/> 1) 自己管理可 <input type="checkbox"/> 2) 一部補完 <input type="checkbox"/> 3) 全面補完 (代行)
	* 家族等の代行能力⇒ <input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不完全 <input type="checkbox"/> 不可能
	* 特記事項()

・応用ツール全体に生年月日を追加。
 ⑧『一部補完, 全面補完』を『一部介助, 全面介助』に、『代行』を『介助者』に変更。応用ツール⑤～⑬も同様に変更。

【応用ツール③ 認知症管理】

4.認知症の治療状況	
・治療医療機関⇒ ()	
・担当医⇒ ()	
⑨ ⑨ 内服薬の状況⇒ <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
有の場合処方内容⇒	

⑨ 『 薬情報添付』のチェックを追加。

【応用ツール⑤ 自己腹膜還流管理】

5.使用薬剤・投与量・回数	
・透析液()	・液量 (ml)
・貯留時間 (時間)	・交換回数 (回)
・透析液()	・液量 (ml)
・貯留時間 (時間)	・交換回数 (回)
⑩ 6.使用器具・提供数	
<input type="checkbox"/> バッグ交換システム	
(メーカー: 種類:	
セット:)	
<input type="checkbox"/> その他 ()	
7.消毒薬・衛生材料	
・消毒液 (ml)	・綿棒 (本)
⑪ ⑪ 滅菌ガーゼ (枚× 1パック)	・絆創膏 (個)
・Y字カットガーゼ (枚× 1パック)	
・その他 ()	

⑩ 『5.使用薬剤・投与量・回数, 6.使用器具・提供数』を合体及び一部削除し、『透析療法と使用器具等』に変更。

⑪ 内容を整理し変更。

はこだて医療・介護連携サマリー【基本ツール】

情報提供先施設名称 **居宅介護支援事業所〇〇 御中** 情報提供先担当者名 **〇〇 〇〇 様**

資料 7

● 基本情報等

(フリガナ) 氏名	ハコダテ タロウ 函館 太郎	生年・性別等	昭和15年1月1日 <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 (満 77 歳)	生活保護	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	障害等認定	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 療育 <input type="checkbox"/> 精神(級) 特定疾患()	身障(級)	<input type="checkbox"/>
現住所	函館市〇〇町〇丁目〇-〇			電話番号	0138-〇〇-〇〇〇〇				
居住	<input checked="" type="checkbox"/> 戸建(階) <input type="checkbox"/> 集合住宅(階) ※エレベータ <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	医療保険種類	<input type="checkbox"/> 健康保険 <input type="checkbox"/> 国民健康保険 <input checked="" type="checkbox"/> 後期高齢者 <input type="checkbox"/> その他()						
要介護度	要介護5	認定有効期間	平成 29 年 〇 月 〇 日 ~ 平成 30 年 〇 月 〇 日	障害高齢者日常生活自立度(寝たきり度)	B1	認知症高齢者日常生活自立度	I		
同居家族	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 子 <input type="checkbox"/> 子の配偶者 <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹 <input type="checkbox"/> その他()								
連絡先①	函館 次郎	続柄	長男	<input checked="" type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	電話	0138-〇〇-〇〇〇〇	関係	<input checked="" type="checkbox"/> 主介護者 <input checked="" type="checkbox"/> キーパーソン <input type="checkbox"/> その他()	
連絡先②		続柄		<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	電話		関係	<input checked="" type="checkbox"/> 主介護者 <input type="checkbox"/> キーパーソン <input type="checkbox"/> その他()	

● 医療情報等

*歯科医師等が摂食や口腔ケアに介入されている場合は、応用ツール④を作成下さい。

主病名	医療機関等名称	診療科名等	担当医	受診状況等	*特記
肺炎	函館市〇〇病院	内科	函館 三郎先生		<input checked="" type="checkbox"/>
高血圧症	函館市〇〇病院	循環器内科	〇〇 〇〇先生		<input type="checkbox"/>
脳梗塞	脳神経外科〇〇病院	脳神経外科	〇〇 〇〇先生		<input checked="" type="checkbox"/>

*特記☑の付く場合は応用ツール⑩を作成して下さい。

● 身体・生活機能等

評価日 平成 29 年 〇 月 〇 日 入院時 入院中 退院時 地域生活期 その他()

*起居動作	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 全介助	移動	<input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> その他()
麻痺の状況	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 軽度 <input checked="" type="checkbox"/> 中度 <input type="checkbox"/> 重度	麻痺の部位	<input type="checkbox"/> 左上肢 <input type="checkbox"/> 右上肢 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 左下肢 <input checked="" type="checkbox"/> 右下肢
視力【日常生活に支障】	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有⇒()	・眼鏡	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
聴力【日常生活に支障】	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有⇒(難聴あり。耳で大きな声なら聞こえる。)	・補聴器	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
意思の伝達	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 時々可 <input type="checkbox"/> ほとんど不可 <input type="checkbox"/> 不可	失語症	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 不明
*認知症症状	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 記憶障害 <input type="checkbox"/> 幻覚・妄想 <input type="checkbox"/> 昼夜逆転 <input type="checkbox"/> 介護への抵抗 <input type="checkbox"/> 徘徊 <input type="checkbox"/> 抑うつ・不安 <input type="checkbox"/> 暴言・暴力 <input type="checkbox"/> 不潔行為 <input type="checkbox"/> その他()		
食事摂取	*食形態 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 刻み <input checked="" type="checkbox"/> 嚥下障害食 <input type="checkbox"/> ミキサー	水分トロミ	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	*食動作 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input checked="" type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	食事・水分制限	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
口腔	*口腔ケア <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input checked="" type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	義歯使用	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 要アセスメント
排泄	排尿介助 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 全介助	トイレ使用	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 夜間 <input type="checkbox"/> 常時
	排便介助 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 全介助	オムツ使用	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 夜間 <input checked="" type="checkbox"/> 常時
衣服の着脱	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 全介助	*服薬管理	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 見守り <input checked="" type="checkbox"/> 全介助
入浴(保清等)	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 全介助		

*特別な医療等

<input checked="" type="checkbox"/> 褥瘡 (応用ツール② 作成)	<input type="checkbox"/> 留置カテーテル (応用ツール⑩ 作成)
<input type="checkbox"/> 皮膚疾患 (応用ツール⑩ 作成)	<input type="checkbox"/> 自己導尿 (応用ツール⑪ 作成)
<input type="checkbox"/> 認知症 (応用ツール③ 作成)	<input type="checkbox"/> 腎瘻・尿管皮膚瘻 (応用ツール⑫ 作成)
<input type="checkbox"/> 食事摂取困難 (応用ツール④ 作成)	<input type="checkbox"/> ドレーン (部位:)
<input type="checkbox"/> 自己腹膜灌流装置 (応用ツール⑤ 作成)	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 (応用ツール⑬ 作成)
<input type="checkbox"/> 透析液供給装置	<input type="checkbox"/> 気管カニューレ (応用ツール⑭ 作成)
<input type="checkbox"/> 酸素療法 (応用ツール⑥ 作成)	<input type="checkbox"/> 人工肛門・人工膀胱 (応用ツール⑮ 作成)
<input type="checkbox"/> 吸引器	<input type="checkbox"/> 感染症 (応用ツール⑯ 作成)
<input type="checkbox"/> 輸液ポンプ	<input type="checkbox"/> リハビリテーション (リハビリテーションサマリー 作成)
<input type="checkbox"/> 中心静脈栄養 (応用ツール⑦ 作成)	<input type="checkbox"/> 癌末期疼痛管理 (応用ツール⑰ 作成)
<input type="checkbox"/> 在宅自己注射(インスリン) (応用ツール⑧ 作成)	<input type="checkbox"/> その他 (応用ツール⑱ 作成)
<input type="checkbox"/> 経管栄養 (応用ツール⑨ 作成)	

在宅介護サービス等

<input type="checkbox"/> 訪問診療 <input type="checkbox"/> 訪問歯科診療 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問介護 <input type="checkbox"/> 訪問入浴 <input type="checkbox"/> 訪問リハ	<input type="checkbox"/> 通所サービス <input type="checkbox"/> ショートステイ <input type="checkbox"/> 住宅改修 <input type="checkbox"/> 福祉用具 <input type="checkbox"/> その他()
*介護上、特に注意すべき点等 ([有]の場合応用ツール⑱ 作成)	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
*介護・看取りに関する本人・家族の意向等 ([有]の場合応用ツール⑱ 作成)	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有

*起居動作[自立・見守り]以外は応用ツール⑩を、認知症症状[無]以外は応用ツール③を作成下さい。

*食形態・動作・口腔ケアの項目で[普通・自立]以外を選択した場合は応用ツール④を、服薬管理[自立]以外は応用ツール⑩を作成下さい。

本サマリーの記入者	所属名	函館〇〇病院 相談室	
電話	0138-〇〇-〇〇〇〇	FAX	0138-〇〇-〇〇〇〇
記入者	函館四郎	作成日	2017年9月25日

*応用ツール以外の書式を添付する場合は応用ツール①を必ず作成下さい。

はこだて医療・介護連携サマリー【基本ツール②】 在宅⇒病院用

情報提供先 施設名称	居宅介護支援事業所〇〇 御中	情報提供先 担当者名	〇〇 〇〇 様
---------------	----------------	---------------	---------

氏名	函館 太郎
----	-------

週間スケジュール							
	月	火	水	木	金	土	日
AM		⑧通所介護			⑧通所介護		
		⑧通所介護			⑧通所介護		
PM		①訪問診療			①訪問診療		
	①訪問診療						
備考							

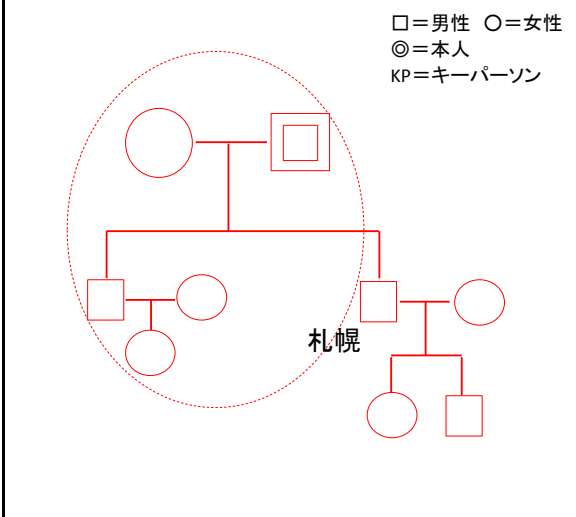
医療・介護サービス利用状況

サービス内容	サービス提供事業者・担当者	主なサービス内容等
<input checked="" type="checkbox"/> ①訪問診療	〇〇クリニック 〇〇看護師	訪問診療 1回/2週間
<input type="checkbox"/> ②訪問歯科診療		
<input type="checkbox"/> ③訪問看護		
<input type="checkbox"/> ④訪問介護		
<input type="checkbox"/> ⑤訪問入浴		
<input type="checkbox"/> ⑥訪問リハ		
<input type="checkbox"/> ⑦通所リハビリ		
<input checked="" type="checkbox"/> ⑧通所介護	デイサービス〇〇 〇〇相談員	送迎, 体調管理, 入浴, 機能訓練
<input type="checkbox"/> ⑨ショートステイ		
<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住宅改修	〇〇 〇〇様	玄関前スロープ, 手すり設置
<input checked="" type="checkbox"/> ⑪福祉用具	〇〇 〇〇様	ベッド, 手すりレンタル
<input type="checkbox"/> ⑫他()		
<input type="checkbox"/> ⑬他()		

生育歴・生活歴

函館出身。元教員。長男家族と同居。札幌に住んでいる次男家族との関係良好。趣味は囲碁。

家族構成図



氏名	続柄	関係	連絡先
函館 一郎様	長男	主介護者	0138-〇〇-〇〇〇〇
(住所) 函館市富岡町2丁目10-10			
(備考・携帯番号等) 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇			
就労状態 無職		健康状態 良好	
函館 次郎様	長男	キーパーソン	090-〇〇-〇〇〇〇
(住所) 札幌市〇〇区〇〇 〇丁目〇-〇			
(備考・携帯番号等) 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇			
就労状態 会社員		健康状態 良好	
(住所)			
(備考・携帯番号等)			
就労状態		健康状態	

本サマリーの記入者	所属名	函館〇〇病院 相談室			
電話	0138-〇〇-〇〇〇〇	FAX	0138-〇〇-〇〇〇〇	記入者	函館 四郎
				作成日	2017年9月25日

応用ツール③ 認知症管理 【記載例】

1. 氏名 函館 太郎 生年月日 昭和15年1月1日

2. 認知症の原因疾患（該当するものに☑）

- ☑ ① アルツハイマー型認知症
□ ② 脳血管性認知症
□ ③ レビー小体型認知症
□ ④ 前頭側頭型認知症

3. 認知症の症状（該当するものに☑と下部欄内に詳細記載）

- ☑ ・記憶障害
・家族の顔は分かるが、他は不明です。
・場所も自宅以外は不明です。
☑ ・幻覚、妄想
時折、家の中に「見かけた事の無い人」が居ると言う時があります。
☑ ・昼夜逆転
夕方の17時には就寝してしまい、夜中に起床し日中に3時間程度昼寝します。
☑ ・介護への抵抗
おむつ交換時に抵抗があります。
☑ ・抑うつ、不安
時々、何かの不安感を訴え突然涙を流す事があります。
☑ ・暴言、暴力
精神的に落ち着かなくなり、イライラ感を表に出し「うるせえ！」等の大声を出したり、興奮すると時折手を出す事があります。
☑ ・不潔行為
排泄時に、便を壁につけたりする事があります。
☑ ・徘徊
時間問わず、家の周囲の決まったルートを毎日徘徊するが、ルートを逸脱し行方不明となり捜索願いを出した事もあります。
☑ ・その他
デイサービス利用時は、施設職員に対して介護拒否等も無く精神的に落ち着いて対応しています。家族に対して(特に主介護者)は非常に厳しい対応をする事があり、家族に対しての対応(暴力)については十分注意を要します。

4. 認知症の治療状況

- ・治療医療機関⇒ (函館〇〇病院)
・担当医 ⇒ ()
・内服薬の状況⇒ ☑ 有 □ 無
有の場合処方内容 ⇒ 函館〇〇病院からの処方内容を添付しています。
☑ 薬情報添付

5. その他

3年前から徐々に認知症状が出現しています。2年前に函館〇〇病院へ通院しアルツハイマーの診断を受けています。内服処方されていますが、症状は徐々に進行している状況が伺えます。

作成者 所属 函館〇〇病院 西病棟 記入者 函館花子
ツール管理者 所属 函館〇〇病院 相談室 氏名 函館四郎

1. 氏名 生年月日

- ・ 対象患者様の氏名，生年月日
※基本情報からリンクされます。

2. 認知症の原因疾患

- ・ 医師の診断に基づいてチェックして下さい。

※各原因疾患の詳細については「知ってあんしん認知症」（函館市認知症ケアパス）参照。
<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2017042800077/files/keapasu-all.pdf>

3. 認知症の症状

- ・ 対象患者様の該当する8項目の認知症の症状にチェックをし、下段に具体的な行動、言動、エピソード等を記載して下さい。
- ・ 8項目以外に気になる認知症が原因と思われる症状については「その他」へ記載下さい。

4. 認知症の治療状況

- ・ ツール作成時に治療中の医療機関名、担当医を記載下さい。
- ・ 内服薬がある場合は、必ず内容を記載するか情報を添付して下さい。

5. その他

- ・ その他、入院、介護上の状況や伝達事項を記載して下さい。

作成者

- ・ 本「応用ツール③ 認知症管理」を記載作成した連携担当者。

ツール管理者

- ・ 対象患者の「基本ツール」を作成、管理、情報収集した連携担当者。

リンク①

●函館市 認知症の方とその家族のためのサービス

【内容】

- ・ 函館市成年後見制度利用支援事業
- ・ 知ってあんしん認知症（函館市認知症ケアパス）
- ・ 認知症ガイド
- ・ だれでも認知症カフェ
- ・ 介護マーク

リンク②

●函館地区高齢者のためのSOSネットワーク

【内容】

警察・保健所・市町等で行方不明の高齢者を早期に発見、保護するネットワーク

リンク③

●函館市 認知症疾患医療センター

【内容】

- ・ 亀田北病院 認知症疾患医療センター
- ・ 富田病院 認知症総合医療センター
- ・ 函館渡辺病院 認知症疾患医療センター

リンク④

●認知症ねっと

【内容】

認知症に関するトピックス等を幅広く掲載する民間サイトです。

未来投資戦略 2017

—Society 5.0 の実現に向けた改革—

平成 29 年 6 月 9 日

(抜粋, 傍線追加)

第2 具体的施策

I Society 5.0 に向けた戦略分野

1. 健康・医療・介護

(2) 新たに講ずべき具体的施策

団塊の世代が全て75歳以上となる「2025年問題」に間に合うよう、技術革新を最大限活用し、個人・患者本位で、最適な健康管理と診療、自立支援に軸足を置いた介護など、新しい健康・医療・介護システムを構築する。オールジャパンでのデータ利活用基盤を構築し、個人の状態に合った効果の高いサービス提供による、健康寿命の延伸と高齢者の自立した生活を実現する。

i) 技術革新を活用し、健康管理と病気・介護予防、自立支援に軸足を置いた、新しい健康・医療・介護システムの構築

① データ利活用基盤の構築

- 個人・患者本位で、最適な健康管理・診療・ケアを提供するための基盤として、「全国保健医療情報ネットワーク」を整備する。(中略) 2020年度からの本格稼働に向け、本年度中に実証事業を開始しつつ、具体的なシステム構成等について検討し、来年度以降、詳細な設計に着手する。
- 「全国保健医療情報ネットワーク」のうち医療・介護事業者のネットワーク化については、クラウド化・双方向化等による地域のEHR (Electronic Health Record) の高度化を推進するとともに、広域連携の在り方(セキュリティ確保策等)やマイナンバーカード等を活用した患者本人の同意取得の在り方について、実証を本年度中に行う。

中短期工程表「健康・医療・介護」①

2013年度～2016年度		2017年度			2018年度	2019年度	2020年度～	KPI	
		概算要求 税制改正要望等	秋	年末	通常国会				
データ活用基盤の構築	健康・医療戦略推進本部の下に設置された次世代医療ICT基盤協議会(2015年1月～)等において継続的に検討	次世代ICT基盤協議会及びその下のワーキンググループにおける包括的な検討・調整等、医療・介護・健康分野のデジタル基盤の構築・利活用						<ul style="list-style-type: none"> 国民の健康寿命を2020年までに1歳以上延伸し、2025年までに2歳以上延伸 全国保健医療情報ネットワークの2020年度からの本格稼働 2020年度までに400床以上の一般病院における電子カルテの普及率を90% 	
	<医療等分野におけるIDの導入> <ul style="list-style-type: none"> 医療等分野における番号制度の活用等に関する研究会において報告書を取りまとめ(2015年12月) 医療保険オンライン資格確認システムの整備に向けて、具体的なシステムの仕組み・実務等について検討 	医療保険オンライン資格確認システムの整備に向けて、具体的なシステムの仕組み・実務等について検討	医療保険オンライン資格確認システムについて開発・構築			医療保険オンライン資格確認の基盤も活用し、医療等分野のIDを段階的に導入	医療等分野のIDについて本格導入		
	<ビッグデータ活用等> <p>「医療等分野データ活用プログラム」を策定(2016年3月次世代医療ICT基盤協議会)</p> <p>医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律の成立(2017年4月)</p>	患者データの長期追跡、各データベース間の連携、民間利活用の拡大に向けて引き続き検討							
			新法の円滑な施行						
			保健医療データプラットフォームの整備に向けて実証実施		実証結果等踏まえ設計				
	<個人の医療・健康等情報の統合的な活用> <ul style="list-style-type: none"> 各地の医療情報連携ネットワークで共有されている情報の調査等を実施 在宅医療・介護の関係者による情報連携を図るための標準規格の検討 平成28年度診療報酬改定において、画像情報・検査結果等の電子的送受に関する評価等を実施 各都道府県が策定する医療計画に地域医療情報連携ネットワークの今後の取組を記載することを促進 		全国規模のネットワーク整備に向けて実証実施		実証結果等踏まえ設計		2020年度からの本格稼働		
			クラウド型EHRモデルの構築、EHR間の相互接続基盤の在り方検討		全国への普及展開の促進				
			在宅医療・介護分野における多職種が共有すべき情報項目等の標準化の推進		引続き、診療報酬上の活用した医療情報の共有の評価の在り方を検討				
			診療行為の実施結果の標準化されたデジタルデータの構築、ネットワーク構築に係るシステム仕様等の標準化、クラウド化等によるネットワークの整備・運営コストの低減		電子版お薬手帳の普及推進				
	「クラウド時代の医療ICTの在り方に関する懇談会」において、個人が自らの健康・医療・介護情報を収集・活用する仕組み(PHR)等について検討結果を取りまとめ(2015年11月)	個人が自らの健康・医療・介護情報を収集・活用する仕組み(PHR)の実現に向けたモデル研究を実施				社会実装 他分野や他主体への横展開			
企業・保険者が有する健診情報や、個人から取得する健康情報等を活用し、糖尿病軽症者等の行動変容を促す「個別化健康サービス」の実証事業を実施(2016年度)	日本医療研究開発機構(AMED)において、医療研究開発事業としてより精緻な検証を行い、糖尿病等の生活習慣病領域における「個別化健康サービス」の明確な効果を示す				社会実装 他分野や他主体への横展開				

(H29.3.10 全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議資料抜粋)

老人保健課

在宅医療・介護連携推進事業

- 在宅医療・介護の連携推進については、これまで医政局施策の在宅医療連携拠点事業（平成23・24年度）、在宅医療推進事業（平成25年度～27年度）により一定の成果。それを踏まえ、平成26年介護保険法改正により制度化。
- 介護保険法の地域支援事業に位置づけ、市区町村が主体となり、郡市区医師会等関係団体と連携しつつ取り組む。
- 本事業の（ア）～（ク）の8つの事業項目すべてを、平成30年4月にはすべての市区町村が実施。
- 8つの事業項目は、郡市区医師会等（地域の医療機関や他の団体を含む）に委託することも可能。
- 都道府県は、市町村における事業の進捗状況等を把握し、地域の課題等を踏まえ、都道府県医師会等関係団体と緊密に連携しつつ、保健所等を活用しながら、市区町村と郡市区医師会等関係団体等との協議の支援や、複数市区町村の共同実施に向けた調整等により支援。
- 国は、事業実施関連の資料や手引き、事例集の整備、セミナーの開催等により支援するとともに、都道府県を通じて実施状況を把握。

事業項目と事業の進め方のイメージ

①地域の医療介護連携の実態把握、課題の検討、課題に応じた施策立案

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

- 地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集
- 情報を整理しリストやマップ等必要な媒体を選択して共有・活用

（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握・共有し、課題の抽出、対応策を検討

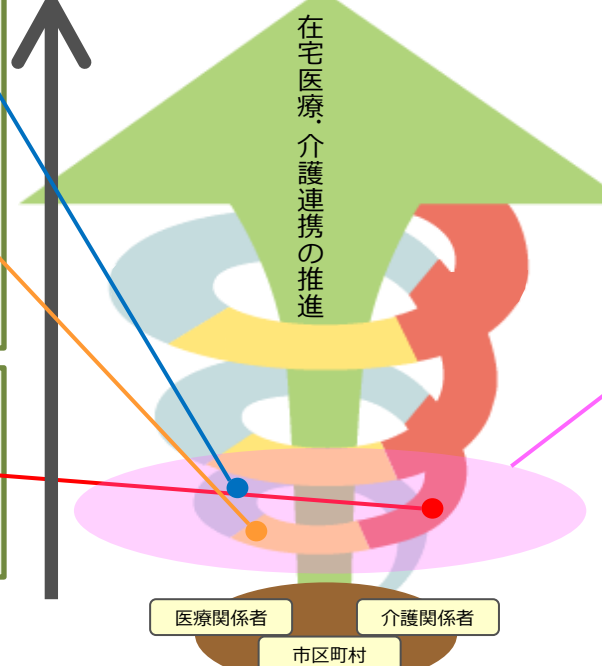
②地域の関係者との関係構築・人材育成

（カ）医療・介護関係者の研修

- 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得
- 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催 等

* 地域の実情に応じて②と③を同時並行で実施する場合もある。

PDCAサイクルで継続的に実施することで成長



③（ア）（イ）に基づいた取組の実施

（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築

- 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

（エ）在宅医療・介護関係者の情報の共有支援

- 情報共有シート、地域連携パス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

（オ）在宅医療・介護関係者に関する相談支援

- 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援

（キ）地域住民への普及啓発

- 地域住民を対象にしたシンポジウム等の開催
- パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- 在宅での看取りについての講演会の開催等

（ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討



* 図の出典：富士通総研「地域の実情に応じた在宅医療・介護連携を推進するための多職種研修プログラムによる調査研究事業」報告書の一部改変（平成27年度老人保健健康増進等事業）

第3章 計画の基本的な考え方

第4節 施策の体系

基本理念	基本方針	基本施策	
		施策目標	個別施策
いつまでも健康で生きがいを持ち、安心して生活できる社会を目指して	I 地域の支え合いの推進	1 共に支え合う地域づくりの推進	(1)地域包括支援センターの機能強化 (2)地域包括支援センターにおける効果的な事業の実施 (3)地域ケア会議の推進 (4)高齢者の日常生活支援体制の充実・強化 (5)高齢者虐待防止の推進 (6)地域における見守り活動の推進 (7)介護に取り組む家族等への支援の充実 (8)高齢者在宅福祉サービスの充実 (9)福祉コミュニティエリアの整備
		2 在宅医療・介護連携の推進	・切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築に向けた取組を推進します (1)在宅医療・介護連携課題の抽出と対応策の検討 (2)医療・介護連携支援センターの機能の充実
		3 認知症高齢者等支援の充実	・認知症高齢者等と家族を支える地域づくりに取り組みます (1)知識の普及と理解の促進 (2)認知症高齢者等と家族の支援体制の強化 (3)医療・介護・地域連携による適時・適切な予防・支援の推進 (4)成年後見制度の利用促進
	II 自立した生活を送ることができる環境の整備	4 介護予防・健康づくりによる自立の促進	・高齢者が主体的に身近な場所で介護予防、健康づくりに取り組む環境を整え、自立を支援します (1)介護予防事業の普及・啓発 (2)地域の主体的な介護予防事業の支援 (3)地域リハビリテーションの推進 (4)高齢期の健康づくり・疾病予防の推進
		5 主体的な社会参加の促進	・高齢者が地域社会に主体的に参加できる環境を整えます (1)支え合い活動への参加支援 (2)生涯学習・スポーツ活動の推進 (3)就業機会の拡大
		6 暮らしやすいまちづくりの推進	・高齢者が地域でいきいきと暮らせる生活環境の整備を進めます (1)市民協働の推進 (2)安心・安全な生活の確保 (3)福祉のまちづくりの推進 (4)高齢者向け住まいの充実
	III 安定した介護保険制度の構築	7 介護保険サービスの充実	・介護保険サービス基盤の充実により日常生活を支援します (1)施設・居住系サービス基盤の整備 (2)介護給付等対象サービスの利用見込み (3)介護保険料
		8 介護保険制度の円滑な運営	・介護保険制度の適正な運営を進め、効果的・効率的な介護給付を実施します (1)情報発信の充実 (2)人材の確保および資質の向上 (3)事業者への支援・指導体制の充実 (4)低所得者向け施策の実施 (5)介護認定の公平性・公正性の確保 (6)介護給付適正化計画の推進